

科目名		デザイン実習 1 A							年度	2024
英語科目名		Design Practice 1A							学期	後期
学科・学年		デザイン科 インテリアデザイン専攻 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員		馬場由香	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築家・インテリアコーディネーター		
【科目の目的】										
・インテリアデザインに関する表現技術を学び、作品を制作する。 ・インテリアデザインのアイデアを形にする表現技術を学び、スケッチや模型で自分の思い描いたデザインを伝えることができるようになる。										
【科目の概要】										
デザインに関する知識と技術を学び、作品を制作します。										
【到達目標】										
A. 技術力/課題内容と表現特性に合わせた制作技術を理解し、実践できるようになる B. 思考・発想力/課題条件に合わせた論理的思考に沿った、効果的な表現ができるようになる C. 企画力/複数のアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができるようになる D. 遂行力/制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができるようになる E. 社会性/主体的に授業参加をして、自分の作品を言語化し人に説明するコミュニケーション力を身につける										
【授業の注意点】										
遅刻、欠席をすると内容についていけない為、理由のない遅刻や欠席は認めない。やむを得ず体調不良等で欠席した場合は、翌日に自発的に資料を教員室まで取りに来ること。授業中メモを取り、わからないことは質問すること。課題は締切厳守。全ての課題を提出で合格とする。授業時数の4分の3以上出席しない者は最終課題の評価を受けることができない。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力					
到達目標 A	表現特性に合わせた技術を理解し、十分に活用して丁寧に制作している	表現特性に合わせた技術を理解し、丁寧に制作している	表現特性に合わせた技術を理解し、制作している	表現特性に合わせた技術を理解しているが、形として不十分	表現特性に合わせた技術についての理解が不足している					
到達目標 B	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った効果的な表現ができる	課題条件に合わせ、論理的思考に沿った表現ができる	課題条件に合わせた思考と表現ができる	課題条件に合わせた思考はしているが表現が不十分	課題条件の理解が不足し、思考と表現が不十分					
到達目標 C	多くのアイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに、リサーチやデザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに、デザイン内容の検証ができる	アイデアをもとに制作はできるが、デザイン内容の検証が不十分	アイデア、デザイン内容の検証が共に不十分					
到達目標 D	制作時間を考えて内容を工夫し、スケジュール管理と課題提出ができる	制作時間と提出期日を考えてスケジュール管理と課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができる	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない時がある	提出期日を考えて締め切りに合わせて課題提出ができない					
到達目標 E	主体的に授業参加し、自分の作品を言語化して丁寧に説明できる	休まず授業参加し、自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができる	自分の作品を言語化して説明することができない時がある	自分の作品を言語化して説明することができない					
【教科書】										
住宅インテリア究極ガイド 最新版、やさしく学ぶインテリア製図										
【参考資料】										
課題ごとに資料を用意する										
【成績の評価方法・評価基準】										
課題80% 提出された課題を総合的に評価する 平常点20% 授業態度によって評価する										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		デザイン実習 1A				年度	2024
英語表記		Design Practice 1A				学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	授業について理解する	1	授業の流れの確認	自己紹介ができる	2	
			2	図形のフリースケッチ	思い通りに線を描くことができる		
2	観察スケッチ	身の回りの物を観察してスケッチする	1	観察スケッチ	特徴をとらえ表現できる	2	
3	1点透視図法の習得	1点透視図法ワークシート①	1	ワークシート記入	1点透視図法を理解し空間を起こすことができる	2	
4	1点透視図法を使用した簡易的なインテリア表現	1点透視図法ワークシート②	1	ワークシート記入	1点透視図法を理解しインテリア表現をすることができる	2	
5	2点透視図法の習得	2点透視図法ワークシート①	1	ワークシート記入	2点透視図法を理解し空間を起こすことができる	2	
6	2点透視図法を使用した簡易的なインテリア表現	2点透視図法ワークシート②	1	ワークシート記入	2点透視図法を理解しインテリア表現をすることができる	2	
7	インテリアファニチャーのスケッチ	インテリアファニチャーをスケッチする	1	観察スケッチ	特徴をとらえ表現できる	2	
					パースを理解して表現することができる		
8	インテリア模型の規則①	模型の作り方を理解する	1	模型用図面の作成	模型用に図面を作成する	2	
9	インテリア模型の規則②	簡易的な空間模型を製作する	1	模型パーツの組み立て	模型パーツの組み立てをする	2	
10	マンション課題の再現①	総合実習2の課題で進めているマンションデザインの模型の作成	1	模型用図面の作成	模型用に図面を調整する	2	
11	マンション課題の再現②	総合実習2の課題で進めているマンションデザインの模型の作成	1	模型用図面の作成	模型用に図面を調整する	2	
12	マンション課題の再現③	総合実習2の課題で進めているマンションデザインの模型の作成	1	模型パーツの切り出し	模型パーツの切り出しをする	2	
13	マンション課題の再現④	総合実習2の課題で進めているマンションデザインの模型の作成	1	模型パーツの切り出し	模型パーツの切り出しをする	2	
14	マンション課題の再現⑤	総合実習2の課題で進めているマンションデザインの模型の作成	1	模型パーツの組み立て	模型パーツの組み立てをする	2	
			2	家具の設置	家具模型をレイアウトする		
15	プレゼンテーション	マンションの模型のプレゼンテーション	1	プレゼンテーション	自分の作品を説明できる	2	
					期限内に提出する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等